



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東大

上場会社名 芦森工業株式会社
コード番号 3526 URL <http://www.ashimori.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 缶 文雄
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 胤森 秀昭

TEL 06-6533-9253

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,414	13.3	△235	—	△289	—	△211	—
24年3月期第2四半期	18,016	△7.1	△580	—	△588	—	△432	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △448百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △550百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△3.73	—
24年3月期第2四半期	△7.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	31,550	9,970	31.6
24年3月期	32,936	10,394	31.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,957百万円 24年3月期 10,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	13.2	600	—	600	—	450	—	7.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	60,569,390 株	24年3月期	60,569,390 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,811,178 株	24年3月期	3,921,424 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	56,703,082 株	24年3月期2Q	56,653,402 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の配当予想は、当期を取り巻く経営環境が依然として厳しく、先行きが不透明な状況にあることから、現時点においては未定とさせていただき、今後の業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で速やかに開示を行う予定としております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、東日本大震災の復興関連需要やエコカー補助金等の政策効果に支えられ、緩やかに持ち直す傾向が見られましたが、欧州政府債務危機による金融資本市場の変調や長引く円高、また、領土問題に端を発する政治・経済への影響等もあり、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓により事業領域の拡大をはかるとともに、各業務プロセスの見直しや調達体制の再構築に取り組むなど、徹底した合理化を推進し、業績の向上に努めてまいりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、204億14百万円と、前年同期に比べ13.3%の増収となりました。損益面でも、2億89百万円の経常損失（前年同期は5億88百万円の経常損失）、2億11百万円の四半期純損失（前年同期は4億32百万円の四半期純損失）と、前年同期に比べ大幅に改善いたしました。

以下、セグメント別に概況をご報告申し上げます。

当社は、カンパニーを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」「パルテム事業」の3つを報告セグメントとしています。

(自動車安全部品事業)

シートベルト、エアバッグ、自動車関連用品(内装品その他)は、東日本大震災による減産からの回復に加え、エコカー補助金等の政策効果による自動車メーカー各社の増産に支えられたため、売上が大幅に増加いたしました。

この結果、当事業の売上は164億51百万円と、前年同期に比べ、23.8%増加いたしました。

(機能製品事業)

「ジャストップ」をはじめとした防災関連商品は、相次ぐ自然災害対策需要を受け、売上が増加いたしました。また、「シリカスクリーン」も売上を伸ばしましたが、ゴム工業資材用広巾織物が国内需要の低迷や円高の影響を受け、売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上は23億95百万円と、前年同期に比べ、3.3%減少いたしました。

(パルテム事業)

「緊急排水ホース」は、東日本大震災や豪雨災害による取り替え需要が継続しており、売上が増加いたしました。パルテム事業の各分野における売上につきましては、プラント分野と上水道分野が好調に推移したものの、下水道分野および電力分野については大幅に減少いたしました。

この結果、当事業の売上は15億59百万円と、前年同期に比べ、30.6%減少いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は315億50百万円であり、前連結会計年度末に比べ13億86百万円減少いたしました。これは、投資有価証券の減少6億55百万円、受取手形及び売掛金の減少6億40百万円などが影響したものです。

負債総額は215億79百万円であり、前連結会計年度末に比べ9億62百万円減少いたしました。なお、正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は△1億45百万円で、流動比率は99.2%となっております。

純資産は99億70百万円であり、自己資本比率は31.6%と、前連結会計年度末の31.5%からやや上昇しております。

②シンジケートローン契約の締結

当第2四半期連結会計期間において、当社は平成23年9月26日付で締結したシンジケートローン契約が平成24年9月25日に契約期間満了となりましたので、引き続き運転資金の安定的な資金調達を目的として、平成24年9月20日付にて新たに株式会社三菱東京UFJ銀行をはじめとする取引金融機関6行と借入極度額100億円のシンジケートローン契約（コミットメント期間平成24年9月25日～平成25年9月19日）を締結しております。

なお、借入金実行残高合計は平成24年9月30日現在、68億円となっております。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、差引き3百万円の減少となり、当第2四半期連結会計期間末の残高は28億4百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が1億56百万円、防災製品補償損失引当金の減少が5億12百万円、関係会社投資有価証券売却益が1億33百万円などがある一方で、減価償却費6億72百万円があったため、9百万円（前年同期は10億26百万円）の資金の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産取得による支出7億64百万円などがある一方で、投資有価証券の売却による収入6億49百万円があったため、1億7百万円（前年同期は7億5百万円）の資金の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額2億60百万円などがあり、1億76百万円（前年同期は20億11百万円）の資金の増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に及ぼす影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,946	2,936
受取手形及び売掛金	10,814	10,171
商品及び製品	1,617	1,791
仕掛品	1,902	1,989
原材料及び貯蔵品	2,016	1,900
繰延税金資産	476	216
その他	745	628
貸倒引当金	△53	△52
流動資産合計	20,466	19,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,630	3,540
機械装置及び運搬具（純額）	2,192	2,121
工具、器具及び備品（純額）	712	707
土地	2,723	2,832
リース資産（純額）	35	28
建設仮勘定	163	235
有形固定資産合計	9,456	9,466
無形固定資産		
	363	331
投資その他の資産		
投資有価証券	1,675	978
長期貸付金	23	19
繰延税金資産	819	1,058
その他	190	173
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	2,650	2,170
固定資産合計	12,470	11,968
資産合計	32,936	31,550

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成24年3月31日)当第2四半期連結会計期間
(平成24年9月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,463	9,229
短期借入金	6,916	8,176
未払金	1,264	944
未払法人税等	50	34
未払消費税等	32	21
賞与引当金	320	295
防災製品補償損失引当金	897	384
その他の引当金	17	4
その他	679	635
流動負債合計	19,643	19,726
固定負債		
長期借入金	1,066	—
退職給付引当金	1,630	1,658
役員退職慰労引当金	112	112
資産除去債務	29	29
その他	59	52
固定負債合計	2,899	1,852
負債合計	22,542	21,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	3,987	3,232
利益剰余金	△562	△20
自己株式	△744	△719
株主資本合計	11,068	10,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△211	△391
為替換算調整勘定	△476	△532
その他の包括利益累計額合計	△688	△924
少数株主持分	13	13
純資産合計	10,394	9,970
負債純資産合計	32,936	31,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	18,016	20,414
売上原価	16,582	18,451
売上総利益	1,434	1,962
販売費及び一般管理費	2,014	2,197
営業損失(△)	△580	△235
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	14	14
持分法による投資利益	13	—
受取賃貸料	10	10
為替差益	—	26
貸倒引当金戻入額	0	1
助成金収入	31	19
その他	24	10
営業外収益合計	106	90
営業外費用		
支払利息	25	31
持分法による投資損失	—	20
賃貸収入原価	10	11
為替差損	4	—
シンジケートローン手数料	50	57
投資事業組合運用損	2	4
その他	21	19
営業外費用合計	114	145
経常損失(△)	△588	△289
特別利益		
固定資産売却益	173	4
投資有価証券売却益	—	133
補助金収入	46	12
特別利益合計	220	150
特別損失		
固定資産処分損	33	16
ゴルフ会員権評価損	3	—
特別損失合計	37	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△406	△156
法人税、住民税及び事業税	89	34
法人税等調整額	△61	21
法人税等合計	28	56
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△434	△212
少数株主損失(△)	△1	△0
四半期純損失(△)	△432	△211

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△434	△212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△179
為替換算調整勘定	△59	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△0
その他の包括利益合計	△115	△236
四半期包括利益	△550	△448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△548	△447
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△406	△156
減価償却費	757	672
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10	—
防災製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△1,260	△512
支払利息	25	31
受取利息及び受取配当金	△25	△21
ゴルフ会員権評価損	3	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△133
有形固定資産売却損益(△は益)	△173	△4
有形固定資産処分損益(△は益)	33	16
売上債権の増減額(△は増加)	72	655
たな卸資産の増減額(△は増加)	704	△125
仕入債務の増減額(△は減少)	△878	△244
その他	284	△247
小計	△879	△42
利息及び配当金の受取額	27	23
利息の支払額	△27	△31
法人税等の還付額	57	76
法人税等の支払額	△204	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	188	130
定期預金の預入による支出	△374	△130
有形固定資産の取得による支出	△737	△764
有形固定資産の売却による収入	228	7
無形固定資産の取得による支出	△8	△0
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	—	649
貸付金の回収による収入	1	4
その他	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△705	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,100	260
長期借入金の返済による支出	△66	△66
自己株式の取得による支出	△0	△0
少数株主への配当金の支払額	△5	—
リース債務の返済による支出	△15	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,011	176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	262	△3
現金及び現金同等物の期首残高	2,527	2,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,790	2,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間末の株主資本の金額は、前連結会計年度末に比較して著しい変動がありませんが、平成24年6月28日開催の第112回定時株主総会決議に基づき、資本準備金701百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともにその他資本剰余金のうち754百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損てん補いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が754百万円減少し、利益剰余金が754百万円増加いたしました。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。